

本庁舎等建設基本計画策定業務

問

図書館・文化ホールの建設場所が決定していない中で、基本計画策定委託業務を発注した。

①繰越業務への影響はないか。

②庁舎等基本計画策定審議会は、場所の決定なしでは、審議ができないのではないか。

答 (庁舎建設課)

①現時点では図書館・文化ホールともにウエルピア伊予にとというのが、総合計画実施計画で定めている計画である。

現在、基本計画策定業務の委託契約の手続き中であり、間もなく契約もできると思う。そういった中で、工期の延長を予定している。



ウエルピア伊予

基本計画は、施設の理念や機能に重点を置いており、場所が変更となっても対応できるとのことである。

②審議会も現在は、庁舎について審議を行っている。図書館・文化ホールの場所の問題は、一般の市長発言で変更の可能性を含んでおり、先送りという形で引き延ばされている。

今後、議会や市民の皆さんの声を聞きながら、結論を得て、その時点で審議していただきたい。

行政診断委託業務

問

①行政診断業務の報告内容の説明を。

②前回の行政診断での指摘事項を、どのように活用しているのか。

答

(行政改革・政策推進室)

①行政診断の目的、進め方、財政状況の分析、事務事業の分析、改善の方策、職員定数の適正化、行政改革の更なる推進に向けての分析結果、他市町との比較検討、組織機構のあり方などの報告を受けている。

②前回の20年度は、正規職員の削減の可能性を探るため、各業務で何人の職員が必要か、また正規職員でなければならぬかなどの診断を行った。

その結果、人員削減は可能であるとの回答を受け、第2次定員適正化計画を策定した。

防災ハンドブック

問

ハンドブックの内容は。

答

(防災安全課)

地震、津波等も含めて、伊予市における災害から身を守るための個人個人の心構えや対策などを示した内容で、携帯できるような形を考えている。

防災マップについては、今後、新たに地震被害想定で、津波高や浸水域も示される予定であり、これらを踏まえ、改めて作成していきたい。

自主防災組織活動事業費補助金

問

活動補助金の補助率を含めて、活動を活性化させるための方策は。

答

(防災安全課)

補助金は活動に対しての助成という考え方であり、補助率については、もう少し状況を見てから考えたい。

現在、自主防災会をバックアップしていくため、各自主防災会を束ねて、伊予市自主防災会連絡協議会を立ち上げている。しかし、まだまだ自立に至っておらず、現段階では行政主導でさまざまな事業を行っている。



自主防災組織活動 (鳥ノ木東)